

## 売上高等比較明細書

以下に記載の 最近1か月は 令和 年 月 を、  
 今後2か月は 令和 年 月～令和 年 月 を、  
 最近1か月の前年同期は 令和 年 月 を、  
 今後2か月の前年同期は 令和 年 月～令和 年 月 を示すものとする。

## 《売上高明細》

## I 指定業種における売上高等

a. 指定業種	【★】最近1か月間の売上高	★の期間に対応する前年同期の売上高	【☆】今後2か月間の見込み売上高	☆の期間に対応する前年同期の売上高
	円	円	円	円
	円	円	円	円
	円	円	円	円
	円	円	円	円
合計	【A】 円	【B】 円	【D】 円	【E】 円

※1：認定申請書の表には、a. 欄に記載する指定業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）と同じ業種を記載。a. 欄には売上高が把握できている指定業種のための記載でも可。

※2：指定業種の売上高を合算して記載することも可。

## II 企業全体の売上高等

【★】最近1か月間の売上高	★の期間に対応する前年同期の売上高	【☆】今後2か月間の見込み売上高	☆の期間に対応する前年同期の売上高
【G】 円	【C】 円	【H】 円	【F】 円

※裏面に続く。なお、本様式は、両面印刷にて使用すること。

(1) 前年の企業全体の売上高等に対する、指定業種に属する事業の売上高等の減少額等の割合

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{\text{【B】} \quad \text{円} - \text{【A】} \quad \text{円}}{\text{【C】} \quad \text{円}} \times 100 = \quad \% \text{ (割合)}$$

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{\text{【B+E】} \quad \text{円} - \text{【A+D】} \quad \text{円}}{\text{【C+F】} \quad \text{円}} \times 100 = \quad \% \text{ (割合)}$$

(2) 企業全体の売上高等の減少率

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{\text{【C】} \quad \text{円} - \text{【G】} \quad \text{円}}{\text{【C】} \quad \text{円}} \times 100 = \quad \%$$

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{\text{【C+F】} \quad \text{円} - \text{【G+H】} \quad \text{円}}{\text{【C+F】} \quad \text{円}} \times 100 = \quad \%$$

(注) 認定申請にあたっては、表Iに記載している指定業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等（例えば取扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など）の提出が必要。

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日  
申請者 事業所所在地  
事業所名  
代表者名